

新庁舎等整備基本計画（素案）及び市庁舎現在地利活用基本構想（素案）パブリックコメント実施説明会
 （令和4年(2022年)6月18日～7月3日開催）
 ～質疑応答集～

目次

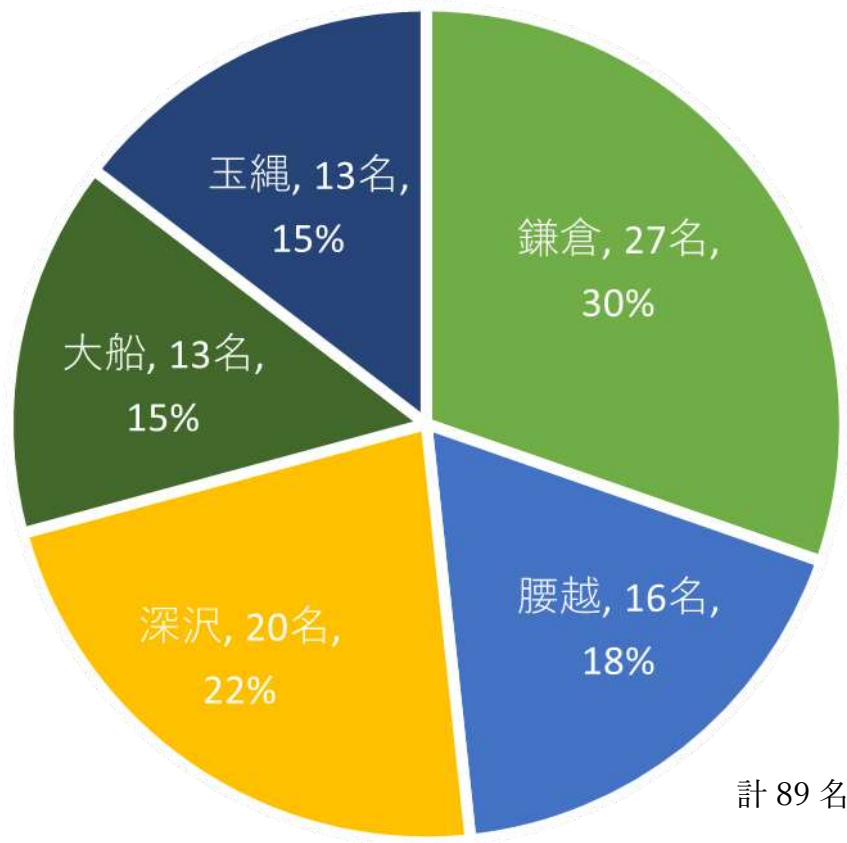
【市主催分】	2
■実施結果（各地域の参加人数など）	2
■鎌倉地域	3
鎌倉生涯学習センター（ホール） 6月18日(土)開催 10:30～	3
鎌倉生涯学習センター（ホール） 6月22日(水)開催 9:00～	5
■腰越地域	10
腰越学習センター（第3集会室） 6月19日(日)開催 10:30～	10
腰越学習センター（第3集会室） 6月23日(木)開催 19:00～	11
■深沢地域	16
深沢学習センター（第1集会室） 6月18日(日) 開催 19:00～	16
深沢学習センター（第1集会室） 6月28日(火)開催 19:00～	19
■大船地域	24
大船学習センター（第1集会室） 6月19日(日)開催 15:00～	24
大船学習センター（第1集会室） 6月21日(木)開催 19:00～	28
■玉縄地域	31
玉縄学習センター（第4集会室） 6月30日(月)開催 19:00～	31
玉縄学習センター（第1集会室） 7月3日(木)開催 10:30～	32
【山王台自治会等主催分】	38
鎌倉市役所（本庁舎402会議室） 6月25日(土)開催 14:00～	38

※質疑応答を開催会場、日付、質問順で整理しています。

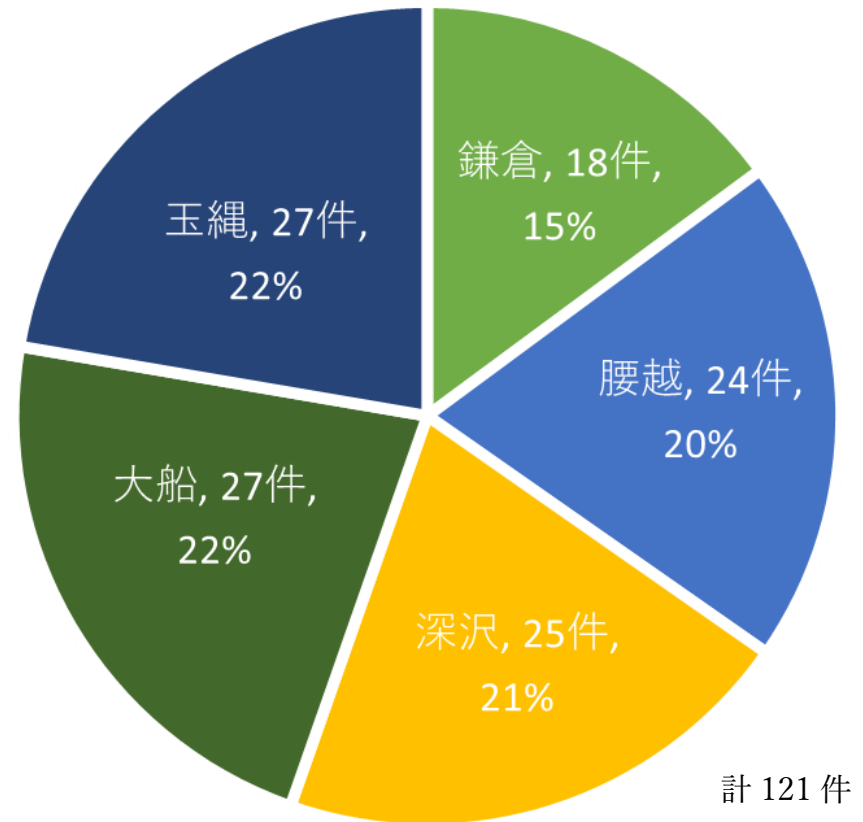
【市主催分】

■実施結果（各地域の参加人数など）

各地域の参加人数



各地域の質問・意見の件数



■鎌倉地域

鎌倉生涯学習センター（ホール） 6月18日(土)開催 10:30～

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	深沢地域は、液状化や洪水のリスクなどハザードマップに記載があるのに移転するというのは矛盾していませんか。	<p>新庁舎の建設予定地である深沢地域整備事業用地の北東部は、計画規模降雨（毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率（年超過確率）が1/100の規模の降雨）では浸水の影響はなく、想定最大規模降雨（毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率（年超過確率）が1/1,000規模の降雨）の場合には浸水の想定がありますが、地盤をかさ上げするなどの対策で浸水想定をクリアする考えです。</p> <p>また、現在、浸水の被害を未然に防ぐため、柏尾川の鎌倉市上流部の横浜市栄区金井で遊水地の整備（神奈川県による新規遊水地整備）が進められています。</p>
2	地方自治法第4条、事務所の移転の条例はいつ作るのでしょうか。	（鎌倉市役所の位置を定める条例の改正については、）基本設計を行い、大まかな施設規模や予算規模が決まってから、議会に諮りたいと考えています。
3	現庁舎の敷地全体が埋蔵文化財包蔵地となっていますが、様々な施設が入った大きな建物を作れるのでしょうか。	大きな施設ではなく、高さ制限などの既存の規制の中で、市民の活動及び文化、行政機能を担保できる施設を作っていきたいと考えています。
4	観光客も多いため、津波などの被害から被災地の真ん中で守る施設が必要と考えますが、災害時の現庁舎の役割はどうなるのでしょうか。	<p>利活用の計画の中では、市庁舎現在地に防災の機能を入れていくことを検討しています。</p> <p>また、市庁舎現在地を帰宅困難者の一時避難場所としても整えていきますが、規模が十分でないことも想定されるため、防災部局と共に帰宅困難者対策を図っていきたいと考えています。</p>
5	現在地の利活用について、現庁舎は耐震性に課題があるとのことですが、現庁舎をそのまま利用する場合の安全性についてと新	現在の本庁舎は、大きな地震で倒れないように最低限の補強はしてありますが、災害時に業務を継続するには不十分という現状

	<p>たな建物を作ることになった場合の費用について、説明していただきたいです。</p>	<p>です。市庁舎現在地を防災の拠点として使う場合は、耐震性能を高めるために建替えも考えられます。建替えも含めてどのように活用するか今後検討していきます。費用についてはレストランのような民間テナントを誘致して収入を得ていくことも検討していきたいので、その収入と工事費としての支出などについて今後考えていきます。</p>
6	<p>新庁舎の整備の官民連携とは具体的にどのようなものをお考えしているのでしょうか。</p>	<p>工事と維持管理を一括発注し、メンテナンスを見込んだ工事や設計をしてもらうことで、コストを下げることを検討しています。</p>
7	<p>現在も市民団体の打合せや会議に市役所を使用していますが、打合せスペースが狭いと思います。</p>	<p>現在の本庁舎を建てた時から世の中がいろいろと変わり部署が増えるなどして打合せスペースなども少なくなってしまう、申し訳ない状態になっています。ご指摘を踏まえて、新庁舎の整備、現在地の利活用で対応していきます。</p>
8	<p>市庁舎が現在地での建替えではなく深沢に移るのは、現在地に高さ制限があるからですか。</p>	<p>現在の本庁舎建設当時の昭和44年には高さ制限がなかったため4階建ての建物が建っていますが、現在の制限の高さ10メートル以下ですと、3階建ての建物の建設は難しいと考えています。現在地の地下には奈良時代の貴重な遺跡などがあるとされており、そのような場所では遺跡を壊さないように2階建てなど高さを抑えて建設しなければならず、高い建物の建設が難しい場所となっています。</p>
9	<p>市庁舎移転が条例による現在地の高さ制限の影響ならば、住民投票などで例外を認めることもできるのではないのでしょうか。現在地の有効活用をもっとしっかり考えたい。</p>	<p>(条例の制限であれば条例改正などが)制度としてはあり得ますが、これまで鎌倉では長年市民の皆さんとも調整しながら鎌倉駅前の建築物の高さ制限を行ってきた中で、市役所だけが高く建てることは難しいと考えています。</p>
10	<p>市庁舎移転は村岡新駅ありきの話ではないのでしょうか。</p>	<p>決してそのような理由ではなく、全国で大きな災害があって、本庁舎の整備の計画に向きあってきたところで、その中でどうし</p>

		<p>ていくかを市民の皆さんにも参加していただきながら、数年にかけて、積み上げてきました。今の市役所のある場所は土日も、結局ほとんど人がいなく、鎌倉の一等地である場所の今の状況というのは、良くないなと思っており、週末平日を含めて多くの市民の方が、今の市役所のある場所集って、様々な文化や芸術を発信できるそういう拠点ということにしていければと考えたところでは。</p> <p>大きな地震や津波で国道 134 号線や切通しがダメージを受けた場合、今の市役所がある鎌倉地域は受援力や自衛力が物理的に厳しい中、深沢地域は、玉縄、大船、鎌倉、腰越の4つの地域に唯一接している地域であり、新しい防災の拠点を整備することによって、全体として鎌倉の防災力の向上を目指します。</p>
11	防災の拠点を作っても道が狭いなら、救助する人が入れるような整備をするほうが先だと思います。	(意見のみ)

鎌倉生涯学習センター（ホール） 6月22日(水)開催 9:00～

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	<p>深沢地域について市役所からは、安全な工事もあるし、杭打ちや土盛りもすると聞いていますし、今まで学者等も交えながら、そのような結論に到達したものと解釈していますが、やはり心配です。事業にかかる莫大なお金を鎌倉市が出して大丈夫か心配です。</p> <p>こういった説明会では、資金の問題をあまり表面に出していません。例えば、昨年の深沢地域整備事業の説明の際には「村岡の新駅には41億円、まちづくりの整備事業には168億円、そして</p>	<p>金額について、まず深沢地域整備事業の組立ての中では、工事費については168億円。こちらについては国の補助金等、保留地の処分金の収入も見込んでいます。</p> <p>土地区画整理事業の実施に関する協定を藤沢市と鎌倉市とUR都市機構とで結んでおり、保留地という売却をする用地について、区画整理の施行主体であるUR都市機構が現在計画を作っています。この保留地の売却益の見込みが、134億円。このうちの37億円について、新駅にあてる計画です。</p>

	<p>新しい橋には15億円かかる。これらは、保留地の売却益や国からの補助金が相当あるので、鎌倉市の実際の負担は、例えば新駅については4億円で済む。」と聞いています。また、このような言い方で広報がまくらにも出ていました。実際にどんな資金源があるにしても、224億円がかかることには間違いのないわけです。</p> <p>また、今回のこの新しい市庁舎の説明の中でも、市役所は170億円との話でした。しかしながら、体育館、グラウンド、消防本部、プール、土盛り、杭打ち、調整池についての話が無いと思っています。市役所が移転するなら、その関連事業を含めたものが、新市役所移転に伴う総額だと思います。非常に大きな額になりますが、このような資金繰りをとっていくので大丈夫ですという説明をすべきだと思います。</p> <p>本件は、深沢地域整備事業、その中に建てる新しい市役所の整備事業、今現在の市役所跡地の利活用事業、この3つが含まれた一大プロジェクトであり、これらについて鎌倉市の負担はいくらで、税金からこれだけを出すといった全体の説明をしていただきたいです。</p>	<p>新駅についてはJ R東日本に概略設計で金額を算出していたが、藤沢市が負担をする自由通路の金額16億円を除き150億円を見込んでいます。この150億円の内訳として、鎌倉市は27.5%、41億2,500万円を負担することとなっています。なお、神奈川県は30%を、J R東日本には15%を、残りを鎌倉市と藤沢市で折半するという計算の中で、鎌倉市の負担額である41億2,500万円から、先ほどの保留地の売却益である37億円を引き、新駅の負担については約4億円という試算をしているところです。また、この負担金についても、国からの補助金というものも見込んでいますので、さらに軽減を図れればと考えているところです。</p> <p>次に新しい市庁舎の170億円という金額については、近隣の藤沢市や横浜市の新しい庁舎を参考として積算をしています。しかし、若干それらの整備と時期がずれるということもあり、工事費の高騰で若干単価は上がっています。鎌倉市の財政の話ですが、これについては財政部局等と事前に様々調整をした上で、各年次で鎌倉市が支払う金額を平準化した上での上限の金額を見ながら整理をしており、その結果今は170億円という概算金額となっています。市役所の庁舎整備そのものへの国等の補助金はありませんが、例えば建物をゼロエネルギービルディングにすることによる補助金も見込みたいと考えています。</p>
2	<p>体育館やグラウンド、消防本部、プール、土盛り、杭うち、調整池の整備費用はどうですか。(体育館、グラウンドの) 今後の費用の見通しについては、今の時点では市民に対して説明していかないのですか。</p>	<p>土盛りと雨水調整池については深沢のまちづくりの基盤整備の工事費の中に含まれています。また、消防本部と杭打ち費用については、市役所の新庁舎の170億円の概算の中に含まれています。新しい市役所の西側に体育館、グラウンドの整備等を予定していますが、こちらについては現時点では年次の計画等は定め</p>

		<p>ていない状況です。このため、それらは今後の調整ということになってきますので、財政の今後のシミュレーションを見ながら、体育館、グラウンドの整備の時期や施設のボリューム等についてもこれから検討していくこととなります。</p>
3	<p>体育館、消防本部、プールやグラウンドの費用により、本庁舎の170億円という金額が大きく変化していくということを市民にきちんと説明すべきではないでしょうか。</p>	<p>今の段階では、体育館、グラウンドの施設のボリューム、金額等はまだ算出できていない状況です。まずは市役所の新しい庁舎の整備、深沢地域のまちづくりの基盤整備、それから市庁舎現在地の利活用をしていく先に体育館やグラウンドの整備があり、その時の財政状況や見込みを鑑みた上で決定していくものと考えています。</p> <p>新庁舎と一緒に建てる消防本部は、170億円に含まれています。体育館やプール等については、新たな施設として作っていくということではなく、今ある施設の老朽化により、そういった施設を統合・複合というかたちでリニューアルをする際、適切な場所に移転し、さらに民間の力を活用しながら将来的に維持管理できるようなものに変えていこうという方針を鎌倉市はもっています。</p> <p>市内の公共施設も相当数あり、これも鎌倉市の人口のピーク時に合わせて建ててきた公共施設で、現在人口も徐々に少なくなってきています。日本全国どこでも同じような場面になっており、人口や財政の状況に応じしっかりと維持管理ができるように、公共施設を集約していかなければいけない時期に差し掛かっています。高度経済成長期に建てた建物が50～60年経過し、建物の寿命がきているところです。その建替えにあわせ、統合して管理ができるような施設の量にしていこうというのが公共施設再編計画で、この計画に沿って進めています。</p>

4	<p>市庁舎現在地の利活用のイメージの中に行政という項目が入っていますが、私たちは鎌倉地域に住んでおり遠くに市役所が行ってしまうのは不便です。深沢まで行くのが難しいお年寄りもいます。この行政という利活用の項目について、これまでと同じような住民票取得や健康管理の問題、固定資産税に関する事など、そういった一連の私たちの日常に必要な窓口をぜひとも作っていただきたいです。</p>	<p>その点のご心配やご不安の声をいただいております。市庁舎現在地の基本構想の素案の中で、鎌倉地域の住民の方を中心に引き続き安心して行政サービスを受けられる環境を整備することとしています。加えて、オンラインによるサービスの提供だけではなく、市民の皆さんの日常を支える上で必要な相談機能や対面でのコミュニケーションのサービス等の整備もしていきたいと考えています。さらに、障害をお持ちの方や子育て中の方、多言語対応等、そういった点につきましてもサービスを提供できる環境を整備していく考えです。</p>
5	<p>人口の年齢構成くらいは予想がつきますが、20年後に社会がどうなっているかはわからないので、シンプルな建物でいいので、まず建物を建ててしまい、極端な話ですが部局をパーティションで仕切るようなフレキシブルな造りにしてしまっていると思っています。将来は、今の物事の前提が変わるという考えに立ったほうが良いと思います。なんでこんな融通の利かない固定的な建物を建ててしまったのだと思われたいようにしてほしいです。</p> <p>また、市民への説明の順序が間違っていたと思うところがあります。市役所が移転してしまったら、今の暮らしがどうなるのかを心配するのは当たり前で、その方たちのところに一番先に説明すべきだったと思います。他の地区の方からすれば、本庁舎が近づいたり、新駅ができれば利便性も良くなるので、よほど反対の意見がある人でなければ反対はしないと思います。例えば文部科学省も小・中学校を開放する考えをもっており、そこでも行政サービスが済むようにするなど、今まで公共施設の再編計画等を鎌倉市は作成してきていますが、新庁舎に行かなくても済むような</p>	<p>今の鎌倉市の事務量や仕事の仕方が、このままずっと何十年も続くとは考えていません。将来の行政ニーズに合わせて柔軟に使っていただける庁舎にしていきたいと思っています。ご意見を参考に、この先計画を進めていきたいと思っています。</p>

	かたちにできると思います。5つの行政区をどうするかといった話もこれまでありましたが、これまで公共施設の再編計画等で計算したり、考え方を積み上げてきていると思っています。それを活かして大筋の方針を決めたほうがいいと思います。	
6	今回パブコメということで6月11日から7月10日まで皆さんの声のお声をお寄せください、と記載されていますが、そもそも私はこの取組について知りませんでした。たまたま議員の方と話をしていて知ったくらいです。もっとしっかりと周知をして、多くの方の意見を聴くべきではないでしょうか。	庁舎の移転等の取組について、直近の広報かまくら3月号や6月号でお知らせするとともに、説明会もやりますという案内をした上で、ホームページ、LINE、Facebook等のSNSの媒体を通じてお知らせをしています。この取組は今急に始まったわけではなく、これまで平成28年度からワークショップを行ったり、適宜パブリックコメントをしたり、一步一步進んできています。引き続き、こういったご案内をしたり、市民の方の質問にお答えする等、不安を解消しながら、ご意見を聴いていきたいと考えています。
7	今の庁舎が深沢に行ってしまう、今までの行政サービスがどうなるのかということが心配です。例えば、これまでは鎌倉駅から横浜や東京へ行って、帰り際に市役所に寄ることが鎌倉地域の方はできましたが、それができなくなってしまいます。その点については、どうお考えでしょうか。	市庁舎現在地の利活用を行っていく際、基本的な行政サービス機能を提供できる体制をしっかりと整えたいと思っています。

■腰越地域

腰越学習センター（第3集会室） 6月19日(日)開催 10:30～

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	深沢地域は交通渋滞の懸念があるが、道路整備はどう考えているのでしょうか。	交通管理者（神奈川県警）からは、深沢地域の整備事業を行っても交通量の容量的には足りていると言われていますが、深沢地域整備事業と並行して道路の拡幅や近隣の交差点の改修等を行っていきたいと考えています。
2	新庁舎の事業費はどこから出すのでしょうか。	市民の皆さんからいただいている税金や市債から支出することになります。また、毎年本庁舎整備基金への積立てを行っており、単年度に過度な負担とならないように気をつけながら進めています。
3	建設資材が高騰しているので、新庁舎の事業費も大きくなると思う、コスト縮減を考えてほしいと思っています。今回の事業に深沢の土地の売却益を使う可能性もありますか。	庁舎整備については、事前に基金を積み立てて準備をしています。深沢地域整備事業は土地区画整理事業のため、事業の中で売却する土地を生みだし、その売却益を事業費に充てることとなります。
4	集約後の中央図書館と鎌倉生涯学習センターの跡地はどうするのでしょうか。	時期が確定しているわけではありませんが、鎌倉生涯学習センターの土地は借地のため返却する方針です。中央図書館の土地は鎌倉市の土地であるため、賃貸や売却も含め、活用を考えていきます。
5	民間に作らせると用地をいっぱいに使われてしまうため、空き地を作らせるなどさせてほしい。	(意見のみ)
6	深沢地域整備事業の用地で鎌倉市が使用する場所はどのあたりなのでしょう。	鎌倉市としては用地の北東部の新庁舎予定地とグラウンドを予定しています。
7	旧国鉄清算事業団の用地は鎌倉市が買い取ったのでしょうか。	全体31ha中、8.1haを、庁舎やグラウンド整備のため鎌倉市が取得しています。
8	消防や行政施設など集中させると、万が一新庁舎がつぶれてし	現在、消防本部（大船）と市役所（鎌倉）の場所が離れており、

	まった場合、全機能が止まってしまうと思いますがいかがでしょうか。	災害時会議の招集に時間を要し、課題と捉えています。市役所と消防本部が一緒の施設にあることによって対応のスピード感が格段に上がるメリットがあると考えています。また、今回の計画で全ての消防を一か所に集約するわけではなく、七里が浜などは今の体制のままを考えています。
9	新しい庁舎及び現庁舎は津波に対して強いのでしょうか。また、柏尾川は結構低い土地にあり、浸水の被害を受けそうな気がします。何か対策は考えているのでしょうか。	想定最大の津波が発生した場合、現在の本庁舎の敷地の少し中まで、浸水の可能性があると思定されています。新庁舎は、津波到達は想定されていません。また、柏尾川からの洪水浸水については、計画規模降雨（毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率（年超過確率）が1/100の規模の降雨）では浸水の影響はなく、想定最大規模降雨（毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率（年超過確率）が1/1,000の規模の降雨）の場合には浸水の想定がありますが、深沢地域整備事業の中でグラウンドや住宅の街区、道路を造成等していく中で浸水想定区域からは外れていき、建てる建物の地下に設備を置かないなどの対策をしていくことで、洪水対策を計画しています。

腰越学習センター（第3集会室） 6月23日(木)開催 19:00～

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	大船消防署が新庁舎に移ることによって、大船地域の消防はカバーできるのでしょうか。	まず、もともと公共施設再編計画で大船消防署と深沢出張所を統合する計画となっています。都市計画道路腰越大船線(大船立体)の工事が行われたことにより、消防車が大船地区と深沢地区を移動する時間が短縮されました。玉縄地区からもフォローでき、全市的な消防体制に支障はない統合であるということで進めています。

2	<p>モデルプランで1階に図書室があると書いてありましたが、深沢地区は前に洪水にあたりしているのでは、危ないのではないかと思います。鎌倉市には文化的価値のある文献が多くあるので、大丈夫でしょうか。</p>	<p>鎌倉市での過去最大の降雨量を基にした浸水想定区域では、新庁舎の位置は浸水しない予測になっています。また、想定しうる最大規模の降雨、632mm/24時間の雨が降った時の浸水予測を、国土交通省の考え方に基づいて神奈川県が算出しています。この雨量では浸水予想がありますが、造成工事で高さをあげ、浸水しないようにし、さらに、図書館の本棚の一番下に本を置かないようにする、止水板で建物の中に水が入らない工夫をするなど、もう一段階の工夫をするなど、検討していきます。</p>
3	<p>中央図書館に置いてある郷土資料は、深沢に移転するのでしょうか。</p>	<p>市庁舎現在地を将来活用するときに、中央図書館機能を入れる予定ですので、深沢に移転する予定はありません。</p>
4	<p>この計画は素晴らしいなと思って聞いていたのですが、市役所の移転について、どの時点でどのように決まったのか、あらためて説明をしてください。</p>	<p>平成23年度に東日本大震災があり、その3年後の平成26年度に鎌倉市の公共施設再編計画を検討しています。その時点では、本庁舎の補強、現在地での建替え、移転、これらについては、今後検討としました。その後、平成29年3月に鎌倉市本庁舎整備方針を策定しています。本庁舎の補強では、非常に費用がかかること、さらなる補強材の設置により大きな空間や執務スペースが取れず、また、現在地での建替えでは、仮設（庁舎）に要する費用がかかることがあります。このような中で、移転先の各候補地を比較検討し、大船、腰越、鎌倉、玉縄とつながる唯一の地域であり、費用についても優位性があるということで、深沢に移転して整備する方針を平成30年3月に決定しています。</p>
5	<p>生活困窮されている市民がいる中で、計画を見直す考えはあるのでしょうか。</p>	<p>生活でお困りの方々へは、一番に対応をいたします。国や県の取組も含め、新たな制度を作りながら、市民の皆さんが安心して生活できるように取り組んでいきます。また、様々な価格も高騰が予想される場所ではありますが、大きな地震がいつ来るか分からないというリスクもあると考えています。建設費用について</p>

		は、改善、見直しをしながら、実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。
6	市役所の移転のきっかけは、深沢地域整備事業と関係しているものなのでしょうか。また、村岡新駅の設置は並進しているものなのでしょうか。	深沢地域整備事業は30年ほど前からまちづくりの検討を進めており、市役所の移転のために進めてきたものではありません。新駅についても、国、神奈川県、藤沢市、JR東日本を含め、全ての関係者が同じ方向を向いて進めていけるというタイミングが来たことから進めているもので、市役所の移転ありきで進めているものではありません。
7	市役所の移転によって、盛土に要する費用の増額は無いのでしょうか。	当初より土地区画整理事業の中で、地区全体を盛土する計画であるため、新庁舎が来たことによって、別途、盛土に要する費用が増額することはありません。
8	消防体制について、玉縄地区からのフォローもあるとの話でしたが、玉縄地区の負担が増えるのではないのでしょうか。	各消防署、出張所から各地区への程度で到着できるかなど、総合的に検討した上での統合であり、支障がないということで進めています。
9	深沢に移転した新庁舎が万が一機能しなかった場合の広域プランはありますか。	現在の本庁舎についても、災害で機能しなかった場合の業務継続計画を策定しています。新庁舎においても、万が一の備えをしっかり検討していきます。
10	災害時の自衛隊の救助については、現庁舎の位置を前提に考えられていると思うので、新庁舎においても、例えば道路を開くなど、検討していただきたいが、いかがでしょうか。	自衛隊等による優先的な防災展開についても検討していきます。
11	書類保管について、サーバー会社など、外部としっかりと連携して、やっていただきたいと考えますが、いかがでしょうか。	フレキシビリティあふれる建物にしたほうがいいというご意見も先日いただいており、そういった視点をもって、時代に合わせ、建物の中が変えられるようなものを検討していきます。
12	新庁舎の財源、固定資産税の増収など、鎌倉市にとってのメリットについて、詳しく教えてください。	工事費、設計費、備品、引越費用などを含め、170億円としており、財源は市民の皆さんの税金となります。現在、基金を積んでおり、この基金を活用するとともに、民間の力を活用して、一

		<p>括発注などにより少しでもコストを抑えていく工夫や平準化していく工夫を行っていきます。その他、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）を国が推奨しており、環境省の補助金が活用できないかなど、あらゆる手段を模索していきます。</p> <p>深沢地域の新たなまちづくりによって、人口が増加するとともに、地域全体のポテンシャルが上がることから、試算をした中では、16億円ほどの税収効果があると見込んでいます。</p>
13	<p>高齢者や子育て中の方が歩いて行ける現在の支所機能はどのようになるのでしょうか。</p>	<p>深沢支所については、新庁舎と統合しますので、廃止となります。その他の支所については、公共施設再編計画の中で、学校に統合していくこととしています。ただし、実現はかなり先になる見込みです。心配のお声を聴いていますので、支所を現在のまま残しながら取り組み、オンライン化やコンビニなどの活用が進んでいって、支所の役割が少なくなっていく中で移行を図っていく考えです。</p>
14	<p>新庁舎に食事スペースができた場合、障害のある方などが働ける場所であるといいと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>他市の庁舎等にそのような施設があることは把握しています。導入できるか検討していきたいと思っています。</p>
15	<p>湘南深沢駅など、バリアフリー化ができていなかったり、公共交通機関が弱かったりするの、どのように対応するのでしょうか。</p>	<p>湘南深沢駅のバリアフリー化については、鎌倉市の移動円滑化基本構想で、バリアフリー化をするべきということで位置付けています。新型コロナウイルス感染症の拡大前に、湘南深沢駅をバリアフリー化するというのを湘南モノレールから聞いていましたが、収入減少により、現在工事着手を見合わせている状況です。新庁舎は、令和10年度に開庁予定であるため、そのタイミングも見ながらバリアフリー化の時期などについては、協議していきます。また、バス交通については、現段階では、バス会社からまだ具体的な路線の見直しの話はありませんが、需要と供給をしっかりと見極めた上で路線の見直しをするということは聞いて</p>

		ています。
--	--	-------

■深沢地域

深沢学習センター（第1集会室） 6月18日(日) 開催 19:00～

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	JRの大船工場が撤退した後、シャッター街になってしまっているのに、市役所を起爆剤として一刻も早く供用開始してもらいたいです。	深沢のまちづくりについて令和3年度に都市計画決定し、新駅整備も含めて計画を進めています。新庁舎も最短で建設できるように深沢のまちづくりと一緒に進めています。なお、新庁舎の開庁は令和10年度を目指しています。
2	災害時を考慮し、現在の場所にある市役所を観光客等も避難可能な避難所となるようなランドマークにしたほうがいいのではないのでしょうか。	市庁舎現在地については、防災のために活用することも考えています。今は災害に対応するために、職員が必要な関係などから、現在の本庁舎は帰宅困難者の受け入れはしていません。新庁舎の整備後の市庁舎現在地の利活用では、避難場所とすることも考えています。
3	現在ある市役所の土地はデベロッパーに定期借地して建物を整備してもらい、市役所はリースバックをしてもらってはどうか。それで、二階、三階部分を市役所機能とし、一階部分は民間が使用するのはいかがでしょうか。そうすることで、建設コストも安くなるのではないのでしょうか。	市庁舎現在地の利活用は、現時点でスペースの構成までの検討です。民間事業者とのバランスの中で、市役所が支払うコストを下げていくことは引き続き検討していきたいと思えます。
4	深沢のまちづくりについて、ここには若い世代を呼び込めるようなまちづくりをしたほうがいいのではないのでしょうか。	色々な住宅のバリエーションを用意し、若い世代を呼び込むなど、深沢のまちづくりを検討しています。
5	湘南モノレールをいかに活用していくかという観点も必要だと思っています。新庁舎ができる時には、湘南深沢駅までペデストリアンデッキを作り、歩いていけるようにするのがいいのではないのでしょうか。	湘南モノレールの50周年誌史でも、50年後を見据えて、鎌倉に寄り添った交通として走り続けていきたいという話がされています。また、湘南モノレールによる湘南深沢駅のバリアフリー化も予定されていますので、湘南モノレールと一緒に検討していくことになると思っています。
6	深沢が洪水になった時どうするのかという話があるが、調整池を整備するだけで本当に大丈夫なのか。	新庁舎の位置する場所は、計画規模降雨（毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率（年超過確率）が1/100の規模

		<p>の降雨)では浸水の影響はなく、想定最大規模降雨(毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率(年超過確率)が1/1,000の規模の降雨)においても、盛土や整地、また新庁舎一階の床の高さを検討する等により、安全性を確保できると考えています。</p>
7	<p>手広の交差点について、この時期になると少し道が混んできます。深沢地区に商業施設等が建つことで、これ以上の人の流れが見込まれること等を踏まえると、交通量が増えるものをどのように捌くつもりなのでしょうか。まちづくりの中で交通網の増減も検討してほしい。</p>	<p>深沢地区の土地区画整理事業を施行するに当たり、交通検討については将来の交通量の増加を見込み交通管理者(神奈川県警)と協議しています。周辺環境の交通ネットワークについても、土地区画整理事業と併せて検討しています。</p> <p>手広の交差点については、道路管理者である神奈川県藤沢土木事務所に渋滞抑制等について相談しています。どのような解決策になるかは、現時点で申し上げられませんが、渋滞を抑えるようなことを検討しているところです。</p>
8	<p>梶原川を暗渠化して道路にすることで、交通の問題はかなり変わるのではないのでしょうか。</p>	<p>梶原川については、暗渠化して幅12mの道路に拡幅する予定です。</p>
9	<p>深沢に、公園や鎌倉の環境にふさわしい緑地を作っていただきたいです。鎌倉の歴史文化、環境がうまく融合したまちを、新庁舎を含めて作っていただきたいです。</p>	<p>土地区画整理事業の前提として、法律で事業区域の中に3%以上の公園を設けるということになっています。どのような公園にするかは今後検討していきますが、深沢周辺にはすでに色々な緑地もありますので、そういうところとの連続性も考えた公園整備を目指して行きたいと考えています。また、現在、まちづくりガイドラインの策定に向け、どのような緑化をするのがいいか等も検討しています。</p>
10	<p>深沢から鎌倉駅に行くのが難しいので、深沢から鎌倉駅西口の交通網がつながるような対策とかはあるのでしょうか。</p> <p>また、西口のロータリーが混んでいることがあり、ずっと並んでいることがあります。市役所で車がUターンする等、交通が</p>	<p>深沢地域から市内の他地域への交通網の整備について、現時点では、バスネットワークが基本になる中で、江ノ電バスと京急バスと意見交換をしています。まだ、まちづくりまで時間がかかりますが、まちづくりに併せてバスを利用する方のニーズは上がっ</p>

	良くなるような企画や計画はあるのでしょうか。	<p>てくると考えます。併せて、東海道線本線の新駅ができることにより、そこを起点として新たな交通ネットワークを整備する必要も出てくると考えています。現在、新交通システムの研究も日進月歩で進んでいるところなので、マッチングできるものがあれば、積極的に導入を検討していきたいと考えています。</p> <p>市庁舎現在地の敷地をロータリーにできないかということについて、市庁舎現在地の利活用構想を計画に上げていく段階では、鎌倉駅西口周辺のまちづくり計画が、平成14年に策定され、20年経っていることから、そういったものを見直しをあわせて行っていくべきという議論を内部でしているところです。</p>
11	本庁舎を深沢に整備することについて、議会の承認は取れたのでしょうか。	<p>本庁舎の移転（地方公共団体の事務所の位置の変更）については、議会で3分の2以上の承認が必要になりますが、承認はまだ取れていません。現段階は議会にお諮りする状況ではなく、もう少し詳細の計画がはっきりした中で、議会に示し、議決をいただくというかたちになります。1年以内ということはおそらくありませんが、2、3年をめどに議会にお諮りすることになると考えています。</p>
12	市役所を含めた深沢のまちづくりの年次計画はどうなっているのでしょうか。	<p>令和3年度に深沢のまちづくりの都市計画決定が告示され、現在、令和4年度の事業計画認可に向けて手続を進めているところです。インフラ工事に着手するのは、令和6年度頃であり、新庁舎の開庁は令和10年度を目指しています。また、令和14年度に新駅開業、令和15年度にインフラ工事完了というかたちで順に目に見えるかたちで工事が進んでいく予定です。</p>
13	深沢のまちづくり完了が令和15年度ということだが、それ以降にはもうまちができて、そこに人が住み着いていることになるのでしょうか。	<p>現在のスケジュールでは、令和15年度までにまちづくりが終わるように見えますが、それ以降もまちづくりは続いていきます。徐々に深沢で人が活動してくるのがその頃になると考えてい</p>

		ます。
14	新庁舎含めた深沢地区の開発にあたり、エネルギーの問題を検討されているのでしょうか。	<p>新庁舎については、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）といった、作るエネルギーと使うエネルギーを相殺する環境負荷の少ない庁舎を目指していきたいと考えています。</p> <p>また、深沢地域整備事業については、現在まちづくりガイドラインの検討を進めており、世界に誇れるまちづくりを目指し、環境に配慮したまちづくりも検討していますので、そのような内容をガイドラインに盛り込みながら、日々進化していく技術を取り入れたまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>

深沢学習センター（第1集会室） 6月28日(火)開催 19:00～

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	深沢地域に市庁舎がくると、交通量がかなり増えると思います。道路整備はどう考えているのでしょうか。	<p>周辺の交通については、令和4年3月1日に都市計画決定及び変更の告示をしました。その中で、道路の拡幅については、現在梶原川がある場所に蓋をして作る市道常盤梶原線については12mに拡幅し、北側の道路についても、既存の住宅地のところまで12mに拡幅する予定です。モノレール下の市道大船西鎌倉線や柏尾川沿いの県道腰越大船については18mに拡幅する予定です。</p> <p>また、中外製薬の土地も一部都市計画区域とし、新川のところまでは道路拡幅をしていく計画です。渋滞が全く起きないとは申し上げられませんが、大前提として、こういった計画を進めるにあたって、交通管理者である神奈川県警と、周辺の交通量については一定の交通量の中で許される範囲であろうということを協議しています。手広の交差点については神奈川県（道路管理者）と、なるべく渋滞が起これないように、右折レーンの整備等する方向</p>

		<p>で協議をしています。</p> <p>また、県道藤沢鎌倉線についても、基本的な整備は終わっていますが、神奈川県（道路管理者）と協議を重ね、拡幅整備に関して検討をお願いしています。神奈川県警との交通管理者協議は基本的に整っていますが、さらに良くしようということを引き続き検討していきます。</p>
2	<p>災害があったときに、鎌倉市の貴重な文献が失われることになるので、1階部分に図書館を移すことはやめたほうがいいと思います。</p>	<p>現在鎌倉で所有している貴重な歴史的文書は中央図書館に保存しており、この中央図書館は、深沢に移すのではなく、市庁舎現在地に複合化しようという方向で検討しています。深沢の新庁舎の1階部分に導入を検討している図書館は現在の深沢図書館です。土地などを整備することで浸水しない計画ですが、図書館を1階に導入することについては、ご意見踏まえて検討していきたいと思います。</p>
3	<p>コロナ禍を踏まえて、新しいまちづくりをどのように考えているのでしょうか。市役所の移転や現在地の再整備については賛成で、新しいところで市民を守ろうとする姿勢、働き方も賛成で、市民に役立つようにしてほしい。</p>	<p>深沢の新庁舎の中に、コロナの対応拠点を作るということは計画していませんが、今後必要に応じて、市役所の機能として充実するものについては検討していきたいと思います。</p>
4	<p>新庁舎の整備などの事業にどのくらいの費用がかかるのでしょうか。市営住宅の建替えもあると思う。</p>	<p>深沢の新庁舎の整備費用は約170億円と想定しています。市庁舎現在地の利活用については、民間企業をどれくらい入れられるかのバランスによって、民間企業から入ってくるお金が変わり、その分かかる費用が変わるため、来年以降に検討していきたいと考えています。なお、現在、市営住宅を90億円くらいかけて2か所くらいに集約する別な計画を進めています。</p>
5	<p>現状でもかなり渋滞がひどいモノレール下の道路、県道につながる道路も全部整備しないと、さらに悪化するのではないのでしょうか。</p>	<p>（事業区域外の）モノレール下の道路は、今具体的に整備する計画はありませんが、どこに課題があって、どんなことができるか検討しています。</p>

6	<p>JR の土地の計画はどうなっているのですか。また、居住区があるため、人口が増えると思いますが、学校等についてはどのように考えていますか。</p>	<p>深沢地域の整備の中では、新庁舎が最初に建ち上がる予定です。新庁舎の開庁は令和 10 年度を予定しています。JR 東日本の用地も含めた全体の工事については、全部同時に完成するわけではないので、新庁舎が開庁したあとも、順次工事を進め、令和 15 年度を目途にインフラ工事が完了する予定です。</p> <p>深沢地域整備事業用地のうち、市有地は約 8.1 ヘクタール、JR 東日本の所有地は約 17 ヘクタールであり、残りはその他の地権者の土地となっています。JR 東日本の土地を、深沢地域整備事業用地のどの部分にもってくるかということは、換地設計で今後決めていくこととなります。また、住宅街区の人口については、2,000~3,000 人を見込んでおり、近隣には深沢小学校と富士塚小学校があり、受入れの人数としては充足しているということを教育委員会と調整をしています。</p>
7	<p>新庁舎の整備費用の他、深沢地域のまちづくり全体に掛かる費用を教えてください。</p>	<p>深沢地域整備事業の事業費は、建物等を建てるための土地造成工事の費用、東海道本線の新駅の設置費用、柏尾川に架ける新しい橋の設置費用と、大きく分けて 3 つの事業費に分けられます。現時点（平成 29 年度試算）において、これらの事業費は合計で約 224 億円と見込んでいますが、これに国庫補助金が約 43 億円、区域内の土地（保留地）を売却することで得られる売却益が約 134 億円を見込んでおり、それらを活用することで、事業費全体に掛かる市の負担額は、実質約 47 億円と見込んでいます。</p> <p>保留地の売却益である約 130 億円は、平成 29 年度に行った試算結果に基づいています。そのうち約 37 億円を新駅設置費用に投入し、残りを造成工事費用に投入する予定です。新駅設置費用は、全体の約 150 億円を神奈川県、藤沢市及び鎌倉市で分担することとなっています。鎌倉市の負担額は新駅設置費用の 27.5%で</p>

		<p>ある約 41 億円ですが、これに保留地の売却益を投入することで、新駅設置にかかる鎌倉市の負担額は、約 4 億円と見込んでいます。また、新しい橋の設置費用は国庫補助金を活用して市の負担額は約 7 億円程度と見込んでいます。新庁舎の費用については、深沢地域整備事業の費用とは別に、約 170 億円を見込んでいますが、今後ゼロ・エネルギー・ビル (ZEB) をつくること等によって補助金を活用できる可能性もありますので、それに向けて取り組んでいきたいと考えています。</p>
8	<p>都市計画上、深沢地域の規制はどうなっているのでしょうか。例えば土地利用や高さ制限、景観条例といった規制を、全体的に同じように誘導していくのか、あるいは街区によって変えていくのですか。</p>	<p>現在の深沢地域は、かつて JR (国鉄) の工場が建っていた中心付近については、工場しか建てることのできない工業専用地域で、その周辺の社宅があった場所や青果市場がある場所等は、工場や住宅等が建てられる工業地域となっています。高さの制限については、鎌倉都市計画高度地区という規制の中で、基本的に工業専用地域は高さ 31m まで、工業地域は高さ 20m までの建物を建てられる指定をしています。ただし、工業地域については、工場や研究所等を建てる場合には 31 m まで建てられることを定めています。このような土地利用等の規制がある中で、都市計画の中で地区計画を定め、工業専用地域あるいは工業地域のまま土地利用転換を図ってまちを作っていくということを、令和 4 年 3 月 1 日に、都市計画決定を告示しました。建物の高さに関しては、この地区計画の方針に沿っていれば、規制を緩めることもできるので、まちを作り、最終的に用途を決めていくという方法で進めていこうと考えています。また、令和 4 年度に策定予定である「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン」の検討の中でも、高さの制限や色彩の規制等についても検討を進めています。この検討は、年に 3、4 回、「鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン策</p>

		定委員会」を開催し、傍聴も受け付けているほか、資料や議事録を鎌倉市のホームページに掲載しています。ガイドラインの策定に向け、今後パブリックコメントの実施も予定しています。
9	湘南モノレールの湘南深沢駅にエスカレーターが無くて困っています。1日も早く設置されるよう鎌倉市からも交渉してほしいです。	湘南深沢駅のバリアフリー工事については、湘南モノレールから、コロナ禍の影響もあり、予算面で一旦計画を中止していると聞いています。今後市庁舎が新しく建ち上がっていくことも見据えながら、鎌倉市としても寄り添いながら協力していきたいと思っています。
10	今後新庁舎の基本設計の事業者選定をしたいと思います。私たちは基本設計をお任せし、基本設計は決まったのかという感じになるのですか。	事業者選定に向けた作業として、新庁舎の基本設計をしてもらうために、仕様書などを作成する必要があります。この仕様書は、導入したい機能や考え方等を盛り込んでいくものですが、その仕様書の中に、基本設計を行う事業者が、市民の皆さんのご意見を反映させていく方法を入れられないかと検討しています。
11	深沢行政センターや鎌倉生涯学習センター、中央図書館の跡地の活用はどのように考えているのでしょうか。	鎌倉生涯学習センターは借地であるため、返還する予定です。中央図書館については、市有地ですので、公共施設として有効に活用するか、あるいは売却したり、賃貸したりということも考えられますが、これについては、現状はまだ何も決定していません。

■大船地域

大船学習センター（第1集会室） 6月19日(日)開催 15:00～

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	<p>図書館は水没すると困るので、例えば議会と場所を交換する等して上の階にしたほうがいいのではないかと思いましたが、場所を変える等、そういった設計の変更はできるのでしょうか。</p>	<p>基本的に、新庁舎は水没しない前提で作っていきます。</p> <p>新庁舎の整備を予定している深沢地域は、計画規模降雨(毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率(年超過確率)が1/100の規模の降雨)では浸水の影響はなく、想定最大規模降雨(毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率(年超過確率)が1/1,000の規模の降雨)の際には、現状の地盤では浸水する想定があります。想定最大規模降雨に対しても、新庁舎の整備を予定する場所については、浸水しない高さに造成工事を行うなどにより、建物の1階部分は浸水しない想定です。そのため、図書館が1階だとしても浸水はしない計画ですが、例えば本棚の一番下には本を置かないようしたり、建物の出入口まで浸水がきたとしたとしても、止水板によって建物の中まで浸水しないようにする等といった、追加の対策も検討しているところです。また、新庁舎の間取りについて、現在お示ししているものはあくまでモデルプランであり、決定したものではありません。図書館を1階に設定している理由としましては、多くの市民の方に利用いただくために、最もアクセス性の良い1階に設定しています。今後、設計者の募集をしていく中で、建築の専門家や市民の皆さんのご意見を聴きながら検討していきます。</p>
2	<p>年超過確率 1/100、年超過確率 1/1,000 とはどのような意味でしょうか。</p>	<p>年超過確率 1/100 の降雨とは、毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率が 1/100 の規模の降雨であり、24 時間に 302mm の雨量となっています。これは昭和 41 年に鎌倉でも観測（観測地藤沢土木事務所）されています。年超過確率 1/1,000</p>

		<p>の降雨とは、毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率が1/1,000の規模の降雨であり、これは国土交通省が考える想定最大規模で、24時間で632mmの雨量となっています。年超過確率1/1,000の降雨は、まだ鎌倉市では観測されたことはありません。</p>
3	<p>市役所は、歴史的から見ても、鎌倉市の地形から見ても、現在の場所にあることは当然であり、絶対に深沢に移転してほしくありません。そのように考えている市民は大勢います。市長はもっと多くの人の意見を聴き、議会でも議論するべきだと思います。安易に市長の考えだけで決定するべきではありません。</p>	<p>元々は公共施設再編計画の中で、本庁舎の建替えや移転ということを決めていませんでしたが、大きな災害が起こりうる現代の状況を考えると、本庁舎の移転は必ずやらなければいけないことだと考えています。その理由としましては、現在の本庁舎は、耐震補強を1度行っていますが、大きな地震が起こった際に、市役所の職員が業務を継続することは非常に難しいという状況があります。そういったところを踏まえた上で、移転、もしくは現在の場所で建替えをするということも含めて検討をしてきました。議会の中でもっと議論すべきというご意見をいただきましたが、もう8年ほど、議会でも大きなテーマとして、毎回多くの議員さんからご意見をいただき、議論を重ねてきました。時間になると相当な時間数になると思っています。その中でどう決定していくかということになりますが、選挙のたびに、市役所移転ということは大きく打ち出してきました。もちろん反対のご意見がまだまだあるということは受けとめさせていただきますが、その中でより良いかたちを、是非一緒に考えて進めていければと思います。</p>
4	<p>中央図書館には近代資料室があり、鎌倉にとって貴重な本がたくさん保管されているので、それをたくさんの人に見てもらい関心をもってもらうためにも、図書館を整備し、面積を増やすべきだと思います。</p>	<p>図書館の面積については今後教育委員会とも議論していくもので、現時点で決定するものではありませんが、いただいたご意見も参考に検討します。</p>
5	<p>深沢に移転する予定の図書館は、現在が820㎡であるのに対</p>	<p>820㎡はおそらく現在の深沢図書館の面積で共用部分も含む</p>

	し、新しい図書館が 630 m ² では、290 m ² 狭くなるのは、どういう状態になるか心配です。	中で、公共施設再編や建物を複合化すると他の施設(市役所など)と共用化できて、効率的な施設整備ができると考えています。書架が 290 m ² 減るという意味ではないとご理解いただければと思います。
6	市庁舎現在地の活用について、図面を見ると、公共部分よりも市民の活用部分が広がっていますが、これは今後検討するのでしょうか。	この基本構想(素案)では、市庁舎の現在地はこのようにしたいといった方針を示しているものであり、スペースの活用を決定するものではないため、面積についても、決定した数字ではないことをご理解いただければと思います。
7	市庁舎現在地の施設(機能)の位置関係を見ると、公共施設のほうが、有利な位置にあるように思います。しっかり検討してほしいです。	敷地内の配置については、色々な配置のバリエーションとして示しています。イメージを膨らませつつ、次の段階の基本計画で決めていきたいと思っています。
8	市庁舎現在地の遺跡の発掘についてどのように考えているのでしょうか。	既に隣の御成小学校で、高級武家屋敷跡や郡衙跡等が見つかっていますので、御成小学校と地続きである市庁舎現在地の土地についても遺構等が出てくる可能性はあると思っています。本庁舎の地下がある場所については、昭和 44 年に建設した際に、地下部分を掘り返していますので、遺構は残っていないと考えていますが、駐車場のところについては、2 階建ての小屋のようなものを分庁舎として建てたりして、遺構を傷めないように利用しています。今後も同じようなかたちで土地利用を検討していきます。
9	広報に位置条例はまだ決まっていませんと書いてありましたが、いつ頃決まるのでしょうか。優先順位として、パブコメで市民の意見を集めるよりも、位置条例を決めるほうが先だと思います。	(行政実例で)財政的な見通しのない中で、先に位置条例を決めるのは適当ではないとされているため、時期は明確にはまだ決まっていますが、基本設計やさらに細かい部分が決まってくる中で、2~3 年後に、条例を提案していくことを考えています。
10	新庁舎の 170 億円について、建築家の方が深沢だとその 10 倍は最低かかるだろうと言っていました。もっとたくさんの有識者を集めて、もっと前に検討していただきたいと思っています。このよ	現在の市庁舎の場所は、鎌倉にとっての一等地であるため、そこをいかに有効活用していくか、ということがとても大事だと思っています。現状は、週末になると市庁舎はほとんど利用されて

	うに言うのも今の市役所の場所にこだわってほしいという気持ちがあります。深沢自体は嫌いではないですが、今の市役所は、2階に上がると眺めがよく、グラウンドとか山とかを見ると鎌倉なんだと、いろいろな人に宣伝できますが、深沢だとそういう活用の仕方はできないと思います。開発自体は反対ではありませんが、新しいものを作って行くよりも、鎌倉の古いものを大事に利用すれば、より集客ができると思います。	いません。それを、365日いつでも市民の方に使ってもらえるように整備をすることで、人が集まって活動ができる場所に生まれ変わります。そういった意味では鎌倉の一等地を、より多くの市民の方が活動できる場所にしていって、素晴らしい景色も、より多くの方に知っていただけるようになるのではないかと考えています。
11	図書館について、色々と利用しやすくなっていいと思いますが、深沢に移転することは反対です。もっと団体や色々な人の意見を聴いていただいて、そういった色々な意見も広報等に掲載していただきたいと思います。一方的に進んでいる感じがして抵抗感があります。もっと反対派の意見も聴くべきです。	中央図書館については、老朽化しているため、それを今の市役所の場所に機能として入れていきたいと考えています。今深沢にある図書館は、深沢の新しい市庁舎に入れていく予定です。それぞれの今の図書館が新しくなるというようにイメージをしていただければと思います。
12	新しい市庁舎はこれからの人材が使って行く場所なので、もっと若い人達の意見を聴くべきだと思います。今回のパブリックコメントの提出方法についても、意見を紙で集めることに疑問があります。スマホで回答等、誰もが意見しやすい方法を考えていただきたいです。	若者のご意見については重要だと考えています。以前、若者を対象としたワークショップを開催した中で色々なご意見を集約するといった取組は行いましたが、もう少し気軽に意見を出せる場の用意というところは引き続き工夫をしていきたいと思ます。 パブリックコメントの回答方法については、オンラインでの手続の一環として、e-kanagawa というシステムを使って、スマートフォン等でアンケート形式のように提出することもできますし、Eメールで直接送っていただく方法もありますので、そういったことも引き続きご案内したいと思います。
13	今の中央図書館、深沢図書館の跡地はどうなるのでしょうか。	中央図書館は新庁舎に行くのではなくて、市庁舎現在地に移りたいと考えています。深沢図書館は、新しい市庁舎に入れたいと思っています。跡地については、まだ決めていませんが、鎌倉市の貴重な財産として有効活用できるように考えていきます。

14	<p>今の鎌倉市は、大船も玉縄も深沢も腰越も含めて鎌倉市です。ですので、何が何でも移転反対というのは、古都にあらずんば、鎌倉市ならずみたいな見方になってしまうと考えます。市庁舎の移転に関して、地域ごとに意見の偏り等はあるのでしょうか。</p>	<p>全て分析できるわけではないですが、やはり鎌倉地域では移転しないでほしいと言う声が多いと感じています。とはいえ、地域性に関わらず、賛成、反対含めたご意見はいただいています。例えば若者からすると、将来自分達が使っていく上で中身のことや、近隣の方からすると、不便になる等、どこに視点を置いているかによって、色々なご意見をいただいています。</p>
----	---	---

大船学習センター（第1集会室） 6月21日(木)開催 19:00～

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	<p>今回の説明は市役所移転の話だけで、深沢のまちづくりの説明はないのでしょうか。</p>	<p>今回のご説明は新庁舎の整備のための計画と、移転後の現在市役所がある場所の計画についてパブリックコメントを実施していて、広く意見を聴きたいという趣旨で開催しています。ただ、関連する深沢地域のことについても、ご質問いただいた時に答えられるよう職員が出席しています。</p>
2	<p>深沢のまちや新駅についての情報があまり出ていないと思います。</p>	<p>深沢の土地区画整理事業については、別の機会を設け、同じような説明会を予定しています。</p>
3	<p>新庁舎には消防署などが統合されるとありますが、税務署等は対象ではないのでしょうか。</p>	<p>税務署は国の施設であり、今回整備する市の新庁舎の中には入らない予定となっています。</p>
4	<p>本庁舎移転の話だけであればそんなに意見はありません。深沢地区の総合的な観点の1つとして、市役所移転するということかと思っていました。市役所の移転しなければならない老朽化であるとか、サービスの面であるとか、今の本庁舎のままでは、だめなことはわかっています。そうではなく、鎌倉市全体としてのグランドデザインを示すべきで、その一つとして新庁舎という説明をしていただきたかったです。</p>	<p>今回は深沢地域の整備にまでご説明が至らず申し訳ございません。鎌倉市全体をどうしていくかという長期計画はあり、深沢をどう整備するのか、どう土地利用していくのか、また、鎌倉市の公共施設の配置計画としての新庁舎の位置付けなどを併せて説明した方がわかりやすいというご意見はごもっともと感じます。説明の仕方を工夫するようにいたします。</p>

5	<p>21世紀にふさわしい市庁舎を作るのに「やさしい」「まもる」「つながる」はインパクトに欠ける。せっかく作るのだから、SDGsとか、脱炭素といったようなところをきちんとうたって、21世紀にふさわしい市庁舎を作ってほしいです。</p>	<p>SDGsや脱炭素、カーボンフリーという鎌倉市が取り組まなければならない課題が前面に出ていないというのは、ご指摘のとおりです。もちろん深沢のまちづくり自体もそういうものを目指しています。本庁舎はそのシンボルになるべき施設なのでそういった発信をしていきます。</p>
6	<p>庁舎移転について、反対だとかはないので、どんどん進めてほしいです。その先のモデルプランとかどんな機能が入るのかというほうが大船の人々は興味がある気がします。基本設計の際などにまた説明したりしたほうがいいと思います。</p>	<p>段階を追って計画をしていく中で、市民の皆さんからご意見を頂くことが大事だと考えています。今後、事業者を募集して進めて行く段階でまたご意見をいただく場を設けたいと考えています。</p>
7	<p>現在のような計画でパブリックコメントを行うのではなく、一度プロの設計者が作った具体的な計画を示したほうが、市民も意見を言いやすくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>あまり決め切らない、まだ計画が柔らかいうちに、市民の皆さんのご意見を聴くことが大事だと考えています。</p> <p>計画の中で具体的な図ができ上がってくる段階で、しっかり市民の方に見ていただいて、またその意見が反映できるタイミングでご意見を伺うようにしていきます。</p>
8	<p>深沢に新庁舎ができること、新駅ができること、そういうところに、すごく大きな期待をしていて、庁舎ができることによって鎌倉の価値が高まるのではないか。</p>	<p>これまでも深沢の開発の意義を市長から様々な場面で説明させていただいたかと思いますが、これから人口が減少していったり、歳入が減っていくような自治体が多い中で、深沢の土地をうまく活用して、深沢だけ良くなるのではなく、大船地域が良くなり、鎌倉地域が良くなりというような、そういうまちづくりをしていきたいと思っています。ご意見をいただきながら一緒に作っていったらと思っています。大船の活気等をうまく深沢につなげていって、また違った魅力があるまちができることが良いと思っています。</p>
9	<p>絶対に新庁舎やまちには価値があるに決まっています。今のこの図面のレベルでもすごい、1日でも早く来てほしいよってくらい強く感じます。</p>	<p>今は、区画整理の基本的な段階の図ですが、これをもう少し立体的にお示ししていくものも今年度取り組んでいきます。年末にはもう少し絵もできて、イメージが膨らむようなものをお示し</p>

		て、深沢のまちについてのご意見をいただきたいと思っています。
10	深沢のまちができることによって、鎌倉市の格差がなくなると 思っています。あとはせっかくだから市民はもちろんのこと、み んなが行ってみたくなるような、新庁舎、今後の鎌倉市をイメー ジするような、そういう建物であれば一番いい。素敵だねと言わ れるまち作りをしていけばいい。	自然の中に溶け込むとか、SDGsとかZEB（ネット・ゼロ・エ ネルギー・ビル）、カーボンフリーをどう体现し、推進していく か、そういう機能面もすごく注目されると思いますので、やっぱ り鎌倉の市役所だからこうしたんですよって言えるような、市民 の方に誇っていただけるようなものにしていきたいと考えてい ます。
11	市役所の跡地には、ショッピングモールみたいなものがあつ て、楽しい買い物ができればいいのではないのでしょうか。	市庁舎現在地付近にはスーパーもありますが、東口の連売所 （農協連即売所）のような昔からの市場があるので西口にもその ようなものがあってもいいのかもしれないといった、色々なご意 見を市庁舎現在地の利活用の計画の中でいただければと思いま す。
12	市役所の跡地は、業者をいれてお金もとれます。住民のために 綺麗にやるよりも大きくお金もいただいてはどうか。	現状は、駅周辺にある公共施設の機能は維持していきながら、 そこに少し付加価値をかけて、民間のノウハウも使っていきまし ょうというところですが、もっと民間を使ってというご意見もあ ると思います。
13	図書館は、高齢者が新聞見に行きますというレベルで整備して も、若い人は出ていってしまう。だから、鎌倉にないものを持っ てくるのがいい。税務署が中に入っていて役立つとか、そういう 計画も必要ではないか。	（意見のみ）

■玉縄地域

玉縄学習センター（第4集会室） 6月30日(月)開催 19:00～

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	災害時における安全性の担保や市庁舎へのアクセス利便性の向上、快適性の向上などの事象をどう評価していくのでしょうか。	様々な災害リスクや利便性に対し、費用面なども含め比較検討し、案を提案してきました。利便性については、やはり市役所の近くにお住まいの方から不安の声が上がっており、今の市役所の場所の活用によって、移転をデメリットと感じる部分をメリットに変えられるよう、市民の皆さんの期待に応えていきたいと考えています。
2	環境政策や文化政策に対し、新庁舎がどう寄与していくのでしょうか。	現在の市庁舎が建築から50年以上経過しているということもあり、大変老朽化していて、空調1つ取っても費用やエネルギーがかかってしまうところがあります。深沢のまちづくり全体で環境負荷低減をしっかりと位置付けをして進めていますので、その中の一部である新庁舎についても、先進事例としてモデルになるようなものを作りたいと考えています。
3	新庁舎について、1つのプランを示して進めるのではなく、複数の案を検討し、示すべきではないでしょうか。どう評価し、1つに絞ったのかも示してほしいです。	現時点では、あくまで面積の規模とコスト170億円というのを考えるために、この間取りを提示したところです。今後、詳細のレイアウトや、民間のレストランを入れられたらどうかとか、170億円というコストを下げる要素の検討を行っていききたいと考えていきます。
4	市庁舎現在地については、公的な空間だけでなく、民間の空間も取り入れていくのでしょうか。	民間活用はできる限り導入していきたいと考えていますが、土地の大きさや高さ制限など、様々な制約があります。その中でどう有効活用していくか、最終的な結論はまだ出ていませんが、その中でできる限り民間の活力・知恵を導入していきたいと考えています。
5	市庁舎に関する検討のモデルの事例を教えてください。	近年建替えをした藤沢市、茅ヶ崎市、平塚市、横浜市や開成町

		(ZEB)の庁舎をみています。また、埼玉県北本市(コンパクト庁舎・災害時の外部空間の活用)や、最新の執務室レイアウトなどの事例では市川市や渋谷区なども参考にしています。
6	新庁舎は、現在の庁舎に比べてどのくらいの規模なのでしょう か。	新庁舎の面積は24,300㎡のうち約20,000㎡で、現在の庁舎は 周辺の分庁舎や賃貸のスペース含め約13,000㎡であり、現在の 庁舎よりは大きくなる想定です。
7	深沢地域整備事業の用地の中で新庁舎の位置はどこでしょ うか。	浸水リスクが一番低い地区北東部に建築予定です。
8	泣塔はどうなるのでしょうか。	泣塔は存置します。
9	用地の現在の暫定利用とこれからの深沢のまちづくりとの整 合性はどうなるのでしょうか。代替スタジアムはあるでしょ うか。	暫定利用に関しては深沢の土地区画整理事業の工事が始まる 令和6年3月までに更地にし、返却いただく予定です。また、J R東日本が所有する用地も同様に整理していくことを確認して います。
10	新庁舎の地盤の安全性はどうなのでしょう。	過去の調査結果からは、液状化の心配はありません。支持地盤 (杭を支持する固い地盤)は富士塚小学校側に向けて上がってい るため、深沢の用地内では、必要な杭の想定の高さが異なって います。建築技術上の問題は出ていません。

玉縄学習センター(第1集会室) 7月3日(木)開催 10:30~

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	新庁舎等の機能には、聴覚障害を有する方や高齢などで音の聞 き取りづらい方などに配慮しての受付音声の文字変換の仕組み を備えてほしいです。また、火災などの災害時に事態を速やかに 伝達する手段として、大きい文字で流れてくるような機能を兼ね たものとして検討してほしいです。また、1つの例として藤沢市	共生社会の実現に向けた取組を推進していく上での貴重なご 意見としてお聴きしました。ハード面の対応などにおいて、しっ かりと検討していきます。 概要版の基本理念と基本計画の3つのポイントで掲げている ユニバーサルという考え方からも、どなたでも同じようにサービ

	ではボタンを押すと手話通訳を呼ぶことのできるサービスもあります。	スを利用いただけるよう検討を進めていきます。
2	公共施設を集約する規模に原因があるように思えるが、本庁舎を深沢に移転しなければならない理由はなんでしょうか。	本庁舎については、現在地での建替えと移転することなどの検討を行い、課題を比較検討した結果であり、災害時における防災の観点からも深沢地域がより適していると判断しました。
3	検討の契機に東日本大震災があったことは理解できますが、その後のコロナ禍での働き方の変革などを踏まえ、改めて施設規模を見直す必要があるのではないのでしょうか。また、コロナ禍によって他に削減できるようなものがありますか。	<p>コロナ禍を経たことによる見直しでは、職員の働き方によるテレワーク率を3割とし、手続のオンライン化やワストップなどによる効率化、書類の電子化が加速していくことを見込み、従来ほどのスペースは要さないことを織り込んでいますが、現時点において何をどれだけ減らせるかということについて、具体を示すことは難しいと考えます。</p> <p>コロナ禍まではテレワークという働き方が世の中にこれほどまでに浸透するとは考えられていなかったですし、鎌倉市でもワクチン接種などの対応に当たるため新たに部署をつくり、執務室の環境が不足する中、調整などを行ってきました。今後、そのような変化に対応しつつ、大地震など災害に備えるということも踏まえて、国が示している算定基準などを参考に面積を算定し確保している状況です。</p>
4	市庁舎現在地は、利便性が非常に高いことから、行政センターをうまく機能させながら、現在の配置を維持し、時代に応じた業務の見直しを図ることで、その成果を発信していくことを考えたほうがよいのではないのでしょうか。	ご意見については、大変重要な論点であると考えており、これまでのワークショップの中でも意見を交わしてきたところです。これまでの整理では、職員の働き方の見直しや行政手続のオンライン化などの変革が起きている中、利便性の高い市庁舎現在地に職員が多くいる必要があるのかということ、また、鎌倉市全体で考えたときに、利便性の高い市庁舎現在地を市民の皆さんの活動の拠点とし、庁舎は深沢へ移転とすることが、市庁舎現在地を活かしていく意味からも、有益ではないかとの考え方につながって

		います。
5	<p>現在の本庁舎は、築 53 年ということで、耐震補強としてブレースが入っているとのことですが、国がインフラの長寿命化を唱えている中、鎌倉市はどのようなことを検討してきたのでしょうか。耐震補強がされているなら、ある程度の Is 値が確保されていると思いますがどうでしょうか。</p>	<p>現在の本庁舎は、昭和 44 年の建築ですが、その後の基準の変更を受けて、Is 値に対する基準を満たせていない状況にあったことから、検討を重ね平成 17 年度までに Is 値（耐震指標）を 0.6 に上げる耐震補強を行った経緯があります。現在、ブレース（耐震補強材）は 48 か所入っており、執務室のレイアウトなどで非常に使い勝手が悪い状況となっています。当時、Is 値を 1.25 倍の 0.75 に上げて安全性を高める検討をした経過もありますが、さらに 32 か所のブレースが必要であり、本庁舎の機能面への影響から見送られています。現在の耐震性能の基準は、地震災害後の庁舎での業務継続に対して 1.5 倍の Is 値 0.9 が求められていますが、求められる強さの建物にするには、単純計算でさらに 64 か所のブレースを足さないとならない状況です。そのような工事をするには、市役所や職員を仮移転して、電源設備などを含めてリニューアルしないとしないなど、コストを考えると移転のほうが、よりメリットがあると考えました。</p>
6	<p>鎌倉市は、とても有名な観光地ですが、道が狭く車の渋滞もあります。深沢の新しい場所では道が広がるのでしょうか。</p>	<p>深沢地域のまちづくりは、土地区画整理事業という手法を用いるものであり、3月に都市計画決定しています。その中で柏尾川沿いの県道は、現在の幅 12m を 18m に広げていきます。南側についても梶原川の歩道の対策と合わせて道路拡幅をし、古館橋の交差点の改良も行うこととしており、新庁舎が入り交通量が増えても大丈夫なように計画しています。</p>
7	<p>様々な計画はありますが、進んでいないように感じます。道路・交通のアクセスについて詳細を示してほしいです。</p>	<p>令和 4 年度に土地区画整理事業に関し、国土交通大臣からの事業認可を得るスケジュールで進めており、この認可が得られればこの計画の中の道路の拡幅は、令和 6 年度から工事に入りたいと考えています。周辺の道路については、中外製薬の前の道</p>

		<p>路を広げることは、この工事と併せて進んでいきます。その他、県道藤沢鎌倉線については、神奈川県（道路管理者）と協議中とご理解ください。</p>
8	<p>公共の交通網は非常に重要だと思いますが、最寄りの駅が湘南モノレールだけでは利便性が悪くないでしょうか。</p>	<p>場所の利便性という点では、全市的に見た人口の中心という考え方に重きを置いて検討を行いました。特に深沢地域は大船地域、玉縄地域、腰越地域、鎌倉地域と隣接している唯一の場所であり、中でも利便性が高いと判断しました。深沢の公共交通については、モノレール以外にバスなどがあります。まちができていく中で利用者の利便性を含めての充実されるものと考えますし、今後、村岡の新駅ができることから、市役所の場所として決して不便ではないと考えています。</p> <p>最近では、未来のモビリティなどのことが取り上げられることが多いですが、やはりバスのネットワークは大事だと考えています。バス事業者も運転手の高齢化や利用者の少ない路線への対応など苦慮していると聞いていますが、深沢地域での31ヘクタールの新しいまちづくりを理解し、新たなバスのネットワークをつなげてくれるものと考えています。</p>
9	<p>鎌倉市には、村岡の新駅ができることで、湘南モノレールの利用者数が減少してなくなってしまうことのないよう配慮してほしいです。</p>	<p>モノレールは、地域にとって大事な交通手段であり、鎌倉市としても支えていかなければならないと思っています。湘南モノレールの駅の中で湘南深沢駅だけが、バリアフリー対応が整っておらず、エレベーターなどの昇降機がありません。令和2年度にはエレベーターを設置する予定であると聞いていましたが、新型コロナウイルスの影響により中断している状況です。そうなると時間の経過とともに深沢のまちづくりとタイミングが合ってくるところがあると思われるので、駅のバリアフリー化など、鎌倉市としても支援をしていきたいと考えています。</p>

10	<p>鎌倉市には閉塞感があるように感じていたが、近年開かれたまちになったと感じています。市民サービスにおいては、昼休みでも対応してくれている。170億円を投じるなら、今後もおもてなしの精神という観点で検討を進めてほしいです。深沢地域では、スマートシティの取組や既にサッカーグラウンドなどもあり、色々なことを行っているが、最終的な出来形には、市民の利便性としてのツールとして、スポーツの力で市民の絆を深める、共感できるように配慮してほしいです。</p>	<p>無機質な市役所にならないよう、また、足を運んでいただけることに対して、お悩みに寄り添いワンストップでの対応ができるよう温かい市役所を実現していきたいです。公共施設として計画上のグラウンドでは、サッカーやラグビーを楽しめるよう配置し、その後には体育館を作る予定としています。こうした展開には、体育協会をはじめスポーツをされている方々とも意見交換をしてきた背景がありますが、今後、より具体的になっていく中で、市民の皆さんがスポーツや文化を介して、夢が見られ、元気になれるようなことを、深沢の地で実現できればと考えています。</p> <p>既にあるサッカーグラウンドは、元々、JR 東日本の社宅があった場所で、JR 東日本が貸し出している土地です。区画整理事業は、令和6年度からの着工を目指しており、UR 都市機構が工事を行うこととなります。そのため、現在のサッカーグラウンドは、あくまで暫定利用であり、区画整理事業の土地利用計画には入ってこないことを補足しておきます。</p>
11	<p>最寄りの湘南深沢駅は、駅員の常駐しない無人駅となるのでしょうか。例えば、聴覚障害を有している方は、乗車券を誤って購入してしまったときの対応として、どのように駅員を呼べばよいか、そのようなところにも配慮してほしいです。</p>	<p>現在、湘南深沢駅に駅員は常駐していません。また、駅のプラットフォームにインターホンは用意されていますが、それでは聴覚障害を有している方のご要望に対応することができません。いただいたご要望は、湘南モノレールに伝えさせていただきます。</p>
12	<p>行政手続について質問です。私の住んでいるところからは、現在地による市役所は便がよく、今後、移転するとした場合、死亡届などは他の場所でも対応できるのでしょうか。</p>	<p>死亡届は支所でも受けることができます。また、移転後の、現在の市役所の場所にも行政サービスを残す予定です。</p>
13	<p>泣塔はどうなるのでしょうか。</p>	<p>泣塔は、現在の場所に保存します。</p>
14	<p>腰越支所はそのまま残るのでしょうか。</p>	<p>当面はそのままの体制で残します。</p>
15	<p>開発することはよいが、利便性を考えると、やはり本庁舎を移転することは疑問です。各地域にある行政センターを拡充するこ</p>	<p>庁舎の移転に関することへのご意見は賛否あると思います。深沢地域の整備事業は、昭和60年代に始まっていますが、当初の</p>

	とで、現在の庁舎を建て替えて連携していくことが最善であるように思います。	計画に行政街区は入っていませんでした。このことは、消防本部などの集約など様々なことを検討してきた結果です。景観地区など様々な規制をかけてきた中で、現在の本庁舎は高さ 15m ぐらいですが、市庁舎現在地には建物の高さ 10m 以下の規制がある状況です。市民の皆さんに規制への協力をお願いしている立場上、高さを遵守することにより、建替えは難しくなっています。そうした経緯を踏まえて深沢のまちづくりと併せて移転を検討してきたものです。
16	防災についてはあまり触れられていませんが、降雨、浸水、排水などについて質問します。境川などでは震災時に水を貯めることのできる公園があります。戸塚のほうに遊水地があり安全性があると言われていますが、どこの場所のことでしょうか。また、最初の計画から現時点までに最大貯水量などをどのように確保してきたのでしょうか。	金井の遊水地のことで、柏尾川の水位があがると越流して川の水が入っていくため、下流域の浸水を抑えてくれるものです。神奈川県による第 1 期の整備は終わっており、第 2 期が完成すればさらにリスクは低減されます。新庁舎予定地では、想定最大規模の降雨(毎年、1 年間にその規模を超える降雨の発生する確率(年超過確率)が 1/1,000 の規模の降雨)による浸水のリスクはありますが、盛土すること、建築の際に基礎高をあげることなどで、浸水しないように計画しています。
17	どうして、深沢地域で遊水地や浸水公園の計画を立てなかったのでしょうか。	25,000 立方メートル程度の雨水調整池を作る計画をしています。

【山王台自治会等主催分】

鎌倉市役所（本庁舎 402 会議室） 6 月 25 日(土)開催 14:00～

参加人数 23 名

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	<p>現在、物価が非常に上がってきていますが、新庁舎の整備費用も現在の見込み額 170 億円では足りなくなる可能性があるのでは。今後の物価高騰を見通して事業費を算定する必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>物価高騰については、事業費見直しの必要性の検討も含め、しっかり社会情勢等注視していきたいと考えています。</p>
2	<p>今回の事業は深沢の開発、新庁舎、市庁舎現在地の利活用を 3 つ同時にやるという市役所のビッグプロジェクトですが、この 3 全体でいくらかかって、そのうち鎌倉市の負担はいくらになるのでしょうか。</p>	<p>全体の工事費については、昨年秋以降実施している自治町内会への説明のなかで、新駅、まちづくり、庁舎の金額についても説明してきました。東海道新駅の整備費のうち、鎌倉市の負担は 41 億円ほどと見込んでいますが、それから区画整理事業での保留地の処分による収入 37 億円を差し引いて、4 億円が実質の鎌倉市負担額と算出しています。これに加え新駅から深沢地区をつなぐ橋も含め、まち作りに関する鎌倉市負担は全体で 47 億円と見込んでいます。これにプラスして新庁舎、消防、学習センターと合わせて 170 億円と算出しており、合計で $47+170=217$ 億円となります。この金額については、当然財政部局とリスクを見ながら相談、調整をしてきているところです。</p>
3	<p>今回の事業の資金調達はどのようにするのでしょうか。市民はやはりお金のことが心配です。市債の残額も 850 億円あると聞いています。最後は市債による調達という考え方は困ります。慎重に考える必要があると思います。</p>	<p>庁舎整備費用の 170 億円については、今 26 億円まで基金を積み立てており、基金プラス市債という費用準備を考えています。市債については 20 年間の返済で借ることを考えています。補助金について、市庁舎に対するものはないため、環境配慮や木質化への部分的な補助金など、一部でも充当できるものを確保し、少しでもかかるお金、市債の発行を減らしていきたいと考えてい</p>

		ます。
4	市役所を移転する理由として、現在の場所に水害の危険があるからと聞いていましたが、その件はどうなったのでしょうか。	<p>現在地には津波の浸水リスクがあり、現庁舎には耐震のリスクもあります。深沢のほうは津波の浸水リスクはありません。大雨については、現在地は問題なく、新庁舎の建設予定地である深沢地域整備事業用地の北東部は、計画規模降雨（毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率（年超過確率）が1/100の規模の降雨）では浸水の影響はなく、想定最大規模降雨（毎年、1年間にその規模を超える降雨の発生する確率（年超過確率）が1/1,000の規模の降雨）の場合には浸水想定区域に入っていますが、地盤を少しかさ上げするなどの対策で浸水想定をクリアする考えです。また、防災について、津波の時に国道134号線が使えなくなるリスクがあるということと、鎌倉地域はアクセスが容易ではないということがある中で、深沢については他4地域に面しているため、防災の際の受援力についても担保できるのではないかと、という考え方から深沢に整備することとしています。</p>
5	地方自治法第4条で「(前略) 事務所の位置を定め又はこれを変更するに当たっては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適切な考慮を払わなければならない。」とありますが、そのあたりはどういうふうにクリアしたのでしょうか。	<p>地方自治法の第4条については、確かに「他の官公署との関係等について適切な考慮を払わなければならない。」とされていますが、他の自治体において、「どうしても近くなければならないということではない」というような最高裁判所の判例もあります。これまで、税務署、水道局、保健福祉事務所等の市役所近隣の機関に深沢のまちづくりや市庁舎の移転整備について説明し、ヒアリングをしています。引き続き官公署へのヒアリングをしていきたいと思っています。なお、交通に関しては、鎌倉市全体で考えたときに、やはり深沢の場所というのは人口重心に近いということもあり、行政サービス機能はしっかりと担っていくものです。</p>

6	<p>深沢地域は盛土を行うとのことですが、熱海の事故もあり国も盛土の規制を強めているし、とても危険に感じています。今安全な場所から危険な場所に移る必要はないと思います。それでも深沢ありきで進めようとする行政に対して非常に不安を感じています。</p>	<p>深沢地域では、現在平均すると1mくらいの盛土を予定しており、法的に認められる範囲でしっかりと対応していく考えです。なお、現在の本庁舎の話になりますが、震度6弱から6強の地震が来たときに、建物が倒壊するおそれがないIs値（耐震指標）が0.6となっている中、災害後に本庁舎の中で業務を継続できるだけの耐震性能が現在の本庁舎にはありません。そのためには、現在本庁舎に入っている48か所のブレース（耐震補強材）に加え、64か所のブレースを追加しIs値0.9としなければならない状況であり、執務室にさらにブレースが入り会議室などの大きな空間を設けることができなくなってしまうと見られます。また、そのような工事をするにはコストもとてもかかります。このような点もふまえ、移転することとしました。</p>
7	<p>現在の市庁舎に津波到達想定があるというのは、津波の高さをどのように想定しているのでしょうか。</p>	<p>津波については発生時に少し市庁舎現在地の敷地の中に入っている想定があり、想定最大規模の約15mの津波が押し寄せた際、市庁舎現在地の敷地内の浸水想定は0.3～2m未満となっています。</p>
8	<p>村岡新駅の全体にかかる費用が41億2500万円とのことですが、以前鎌倉市の持ち出しは4億円という説明がありました。約37億円の財源はどこから来るのでしょうか。</p>	<p>新駅整備の経費150億円のうち鎌倉市負担27.5%で41億2500万円となります。そこに、深沢のまちづくりをする中で一定程度用地を確保して売却をしていきます。その売却益134億円と見込んでいますが、そのうちの37億円を新駅に投入することで、41億2500万円－37億円＝約4億円と算出しました。</p>
9	<p>市民が最も困っているのはごみ問題です。庁舎を作るのではなく、ごみの焼却炉を作らなければならないと思います。</p>	<p>人口減少やごみの資源化が進んだことにより、燃やすごみは全国的に減少しており、鎌倉市においても単独処理の継続も考えた上で、近隣市町との広域処理を進めていくことを決定し、燃やすごみの処理は逗子市焼却施設で処理する計画としています。本庁舎は老朽化が進んでおり、災害による倒壊のおそれはありません。</p>

		<p>が、被災後に庁内で業務を継続できるほどの耐震強度はありません。本庁舎以外にも多くの公共施設が老朽化している中で、建替えも含め統合して効率的に整備するにはどうすればいいのか、これまで議論をしてきて現在の方向性を導き出してきたところをご理解いただきたいと思います。</p>
10	<p>ごみ処理施設について、2024年に名越の施設を停止すると聞いています。名越の施設を逗子などに運んだりする時の中継施設として建て替えるのに1年間かかり、その間は今泉に中継施設を負担してもらおうという話が進んでいますが、今泉の住民は大反対、今泉の施設には職員も20人おらず狭いです。今後他県にごみを運ぶ計画もありますが、処理費が高額です。深沢にできる市役所、消防署、図書館などは今既にある施設で、まだ使える施設です。本庁舎は何年も前に大規模な耐震工事を行っています。ごみの施設を建てないで、いま既にある施設を新しく作るのは納得できません。</p>	<p>高度経済成長期に人口が増えたときに整備した公共施設がちょうど今5、60年ほど経過し、古くなって更新しなければならない時期を迎えています。そのまま放置すると今の管理費の約2.8倍、年間約20億円から約50億円に増えてしまうと試算しています。さらに、その他に、道路、下水道、緑地などのインフラの管理費用が約40億円から約90億円に膨れ上がります。このような中で、できるだけ効率的に公共施設の数を集約しながら有効に使ってき、管理費を2.8倍かかるところを半分ぐらいに抑えていこうとしているのが今の計画（公共施設再編計画）です。新庁舎を整備すると同時に、老朽化している図書館や消防本部なども合わせて効率的に管理していこうとしています。ただ、インフラについては、道路を半分にしたり、橋をやめたりなどということではできませんので、これは予防保全型でなるべくお金がかからないように維持をしていくこととし、公共施設計画と合わせて実施していきます。本庁舎に関してもう一度申し上げますが、以前耐震改修し、その時にIs値0.6をクリアするように改修しました。その後、大きな地震が何度かありました。地震後にこの建物を使い業務継続をしていくにはIs値0.9が求められ、もし本庁舎を使うのであれば、さらに相当なブレース（耐震補強材）を設置しなければならないという状況の中で、必要な面積を確保や公共施設の再編ができないことなどを踏まえて、現在の方向性を</p>

		<p>導き出してきたところです。</p> <p>【補足説明】</p> <p>名越クリーンセンターの焼却は、令和6年度（2024年度）末までに稼働を停止し、その跡地に、令和9年度（2027年度）当初の稼働を目指し、ごみの中継施設を整備する計画です。この中継施設整備期間中は、今泉クリーンセンターで市内全域の燃えるごみを中継する予定です。このことについては、現在、名越及び今泉クリーンセンター周辺住民の皆様へ説明し、協議を進めているところです。また、今泉クリーンセンター周辺住民の皆様とは、将来的に整備を計画しております生ごみ資源化施設について、計画見直しのご意見をいただいていることから、今後、住民の皆様とともに、施設整備の進め方を協議していきたいと考えておりますが、中継施設につきましては、名越中継施設整備工事中の施設運用について協議を重ねているところです。</p> <p>なお、現在、今泉クリーンセンターには、職員約40名の他、関係課職員約10名が勤務しております。これに名越クリーンセンターから職員が異動すると、総勢90名弱の職員数となり、多少手狭とはなりますが、執務スペースの確保は可能な状況です。</p>
11	市役所の位置を定める条例はいつ改正するのでしょうか。	<p>現在はまだ詳細の事業費が出ている段階ではなく、今後、基本設計を行っていく中で概ね事業費が出てくることとなりますが、事業費が出た段階でなければ条例改正を諮る時期として好ましくないという行政実例もあるため、現在の事業スケジュールと照らし合わせると令和5、6年度頃に諮る必要があると考えています。</p>
12	ごみの処理施設はなぜ庁舎などのように公共施設の再編計画	<p>公共施設の再編関係に関しては、平成26年度に公共施設再編</p>

	<p>に入れられないのですか。</p>	<p>計画というものを策定し、庁舎や他の公民館や、その他いろんな公共施設のあり方を定めています。ごみ施設は別の計画で定めています。やはり公共施設と同様に、今後どうしていくかについて計画を作っています。その中で、当初は市内のどこかの場所での焼却炉の設置について議論が進められてきた経緯があります。その中で、全てこの基礎自治体でフルスペックを保っていくのは、これからの人口減少の時代には合わないのではないかと、人口17万人の基礎自治体として維持していくにはどのような施設規模が適切かなど議論してきた中で、ごみ処理施設については広域で行うほうが効率的であり、費用面、環境負荷の抑制の観点からも選択をしました。このように、ごみ処理施設については、建設して鎌倉市内に整備するというのではなくて、広域で対応していくこととしたのがこれまでの経過です。</p>
<p>13</p>	<p>今回の計画の作成にもコンサルティング会社が入って4000万円ほどかかっていると聞いています。これだけ高額のお金がかかって、また設計段階まで進むとどんどんお金がかかり、その後に条例を制定するというのはそれまでかかったお金が無駄になってしまうから事業に反対できないようにしていると思います。また、今回の計画内容は民間にお金を出してもらうなどありますが、その説明で横文字が多く分かりにくいです。内容を理解してパブリックコメントを書ける人がどれくらいいるのでしょうか。</p>	<p>計画の作成に当たっては、確かに支援業務という形でコンサルタントの手を借りて進めています。現在、民間の力を借りてというのはいろいろな自治体で行われており、例えば渋谷区のように庁舎と住宅と一緒にデベロッパーに建ててもらうことで、自治体はほとんどお金をかけずに庁舎整備を行うという事例もあります。このように官民連携型の事例はPFIなど様々な事業手法があり、今までは鎌倉市が仕様を決め設計・発注していたところ、民間のノウハウを用いて、例えば設計から管理まで一括でやるのが可能になり、これによりコスト削減が可能になるなど、いろんなプランを提案してもらえるような時代になっています。</p>
<p>14</p>	<p>このような会合によく来ていますが、いつも絵に描いた餅のようで、意見が反映されていません。それであれば説明会などやる意味がありません。物価上昇により費用も増す中で、きちんと予</p>	<p>今の新庁舎等整備基本計画や市庁舎現在地利活用基本構想という2つの計画を作り上げていくに当たっては、市民対話などを通して多くの市民の方に参加していただいています。最近では今</p>

	<p>算の見直しをしていかないと、孫世代にまで残る借金を減らすことはできません。</p>	<p>年の2、3月、その前には去年の秋まで1年間くらいやってきました。庁舎整備事業や深沢地域整備事業、それぞれこれまで市民の方々に参加をいただいている中で、このような計画の策定に当たり皆さんからご意見をいただきたいということで現在パブリックコメントを実施しています。また、今回の説明会でいただいたご意見を記録させていただき、ホームページでも公開し広く皆さんにお示しをしたいと考えています。物価高騰については先ほども申し上げたとおり、しっかりと見ていなければならないし、今の子どもたちが大人になった時、またその先の世代の子どもたちにツケを残さないような行政をやっていく、財政を見極め必要な政策をやっていくのが我々の使命だと思っています。</p>
15	<p>パブリックコメントは何かの役に立っているのですか。</p>	<p>パブリックコメントは意見公募条例に基づいて実施しているもので、鎌倉市の政策を定める計画や施策の策定時に公表し、市民等の皆さんからご意見等をいただくとするものです。いただいたご意見、それに対する回答ホームページなどで公表しています。この制度は多数決ではないため、鎌倉市の施策に反映できるものは反映しますが、やはり意見が割れているものについては、どちらかの側の意見は自分の意見が反映されていないという気持ちになってしまうのはやむを得ないものと考えています。このように、しっかりご意見を聴いていくようになっていきますし、周知についても説明会を通して、また、今回のようにご用命があれば別途説明会を個別に開催するなど、積極的に行っていました。</p>